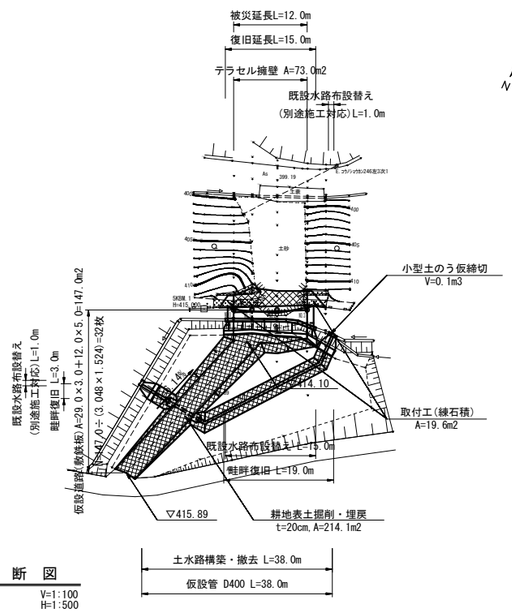
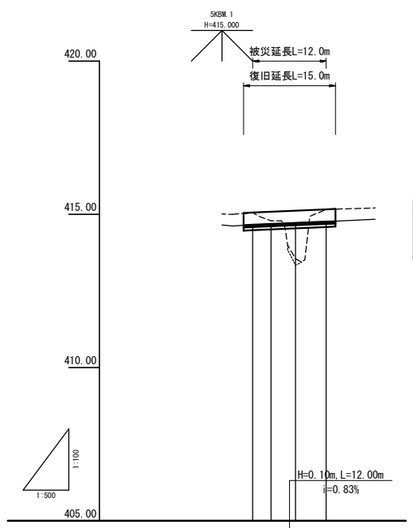
平　面　図

S=1:500



縦　断　図

V=1:100
H=1:500



凡例

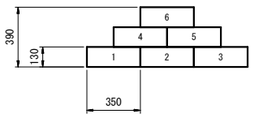
水路高	――――
地盤高	－ － － －
	……

復旧計画	勾配	414.66				414.76
	水路底	414.66	414.69	414.72	414.76	
現況水路	勾配					
	水路底	414.66	414.67	414.72	414.76	
追加距離		0.00	3.00	7.00	12.00	
単距離		0.00	3.00	4.00	5.00	
測点		NO.0+	NO.1+	NO.2+	NO.3+	

小型土のう仮締切

S=1:50

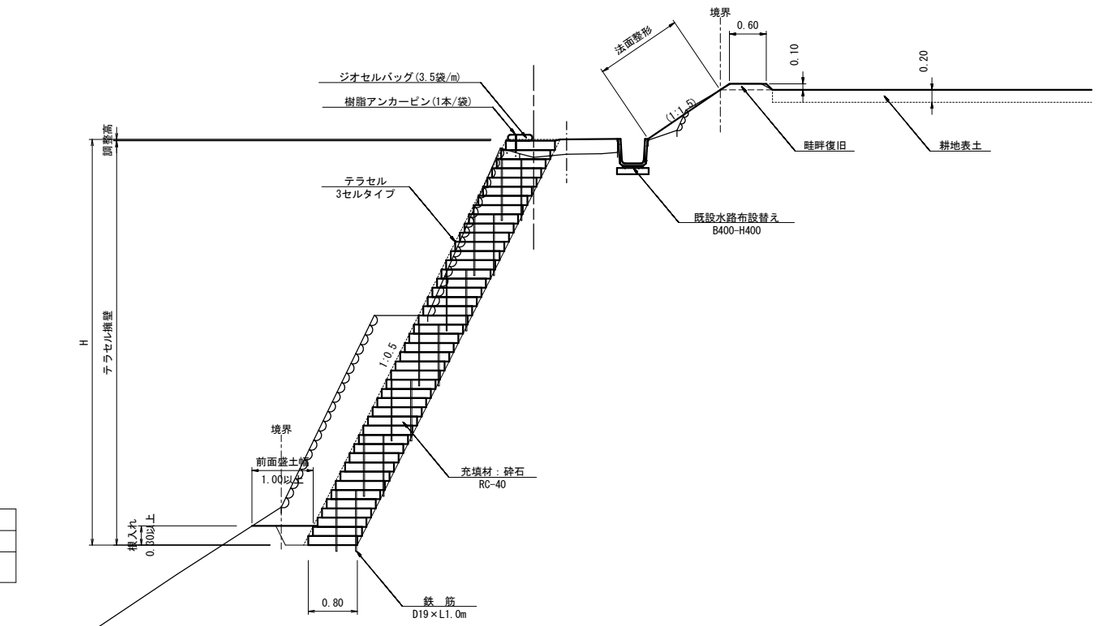
土のう袋仕掛寸法：130×350×450
土のう締切長：0.40



材　料　表				1箇所当り
名　　称	規格・寸法	算　　式	単位	数　　量
小型土のう	仕掛え・設置・撤去	0.13×0.35×6×0.40	m3	0.1

標　準　断　面　図

S=1:50



※支持地盤は、調査および試験を行い、構造計算書の支持力を満足すること。
※段切の大きさは水平幅1.0m以上、高さ0.5m以上とする。

特記事項	NETIS:KT-090023-VE （期間満了によりNETIS掲載終了）
盛土材料	・セル内の締固め密度管理は、乾燥密度で管理する場合は、最大乾燥密度の90%（路体）以上を満足すること ・セル外の締固め密度管理は、発注機関で定める基準値を満足すること
基礎地盤	・ジオセル擁壁基礎地盤の支持力確認を行うこと ジオセル必要地盤反力　q = 168.33 kN/m²以上 ・設計条件通りの地層が掘削時に確認できない場合、支持力確認で必要反力が確保できない場合は、置換え、地盤改良、ジオセルマットレス工などで適切な処置が施された地盤とすること
排水工	・適切な排水処理を施すこと ・予期せぬ湧水が確認された場合は、速やかに排水対策を行うこと ・施工中は、仮排水工を設けるなどジオセル擁壁部へ水を導かないように排水処理を行うこと
安全管理	・安全管理は、労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守すること
テラセル相互接続部	・公的機関で接続部の試験を実施している製品とする ・ジオセル製品の接続強度は、製品の溶着強度と同等以上とし2130N/15ｃｍ以上とする
テラセル補助鉄筋	・用心鉄筋として線径Ｄ19を用いる。(安定計算では考慮しない) 法面勾配が1：0.5より急勾配の時は、長さ1.0mとし、1：0.6から緩勾配の時は長さ0.7mとする
テラセル表面シート	・テクスチャー加工の表面シートで耐候性を考慮し、色を黒とする

数　量　表			
項　目	規　　格	単位	数　量
壁面工	直高面積	m2	73.0
テラセル	3セルタイプL2650×B800	枚	184
	セルロック	個	1288
鉄　筋	D19×1.0m	本	142
ジオセルバッグ		袋	42
樹脂アンカーピン	□20×300	本	42
砕　石	C-40（またはRC-40）	m3	60.0

※壁面工5%、砕石10%のロス含む。

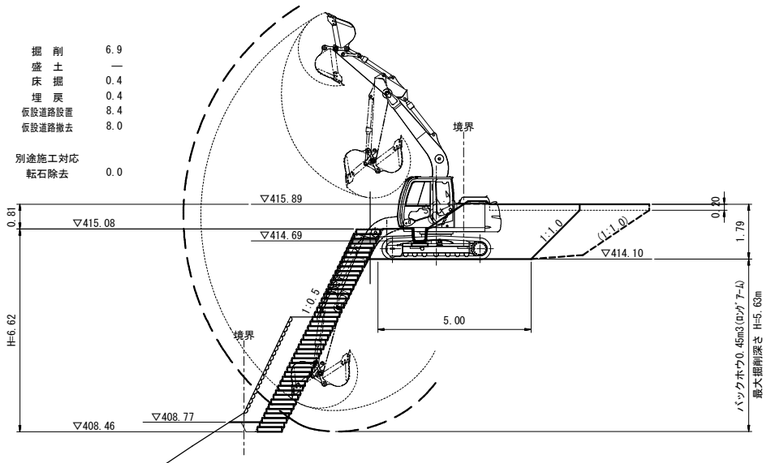
野井倉　用水路

事 業 名	令和3年度災害復旧工事		
工 事 名			
施工年度	令和　年度	施工位置	琴浦町野井倉
図　面の名称	平面図・縦断図・標準断面図		
縮　尺	図示	図面番号	1/4

NO.1
GH= 414.79
FH=

D=4.00

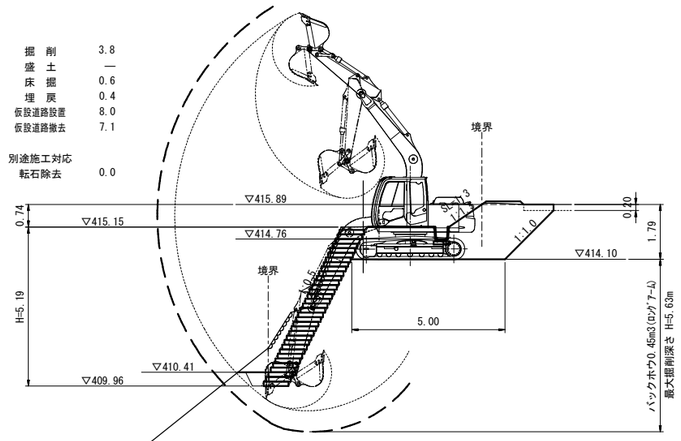
掘　削	6.9
盛　土	—
床　掘	0.4
埋　戻	0.4
仮設道路設置	8.4
仮設道路撤去	8.0
別途施工対応 転石除去	0.0



DL=400.00

NO.3
GH= 415.16
FH=

掘　削	3.8
盛　土	—
床　掘	0.6
埋　戻	0.4
仮設道路設置	8.0
仮設道路撤去	7.1
別途施工対応 転石除去	0.0



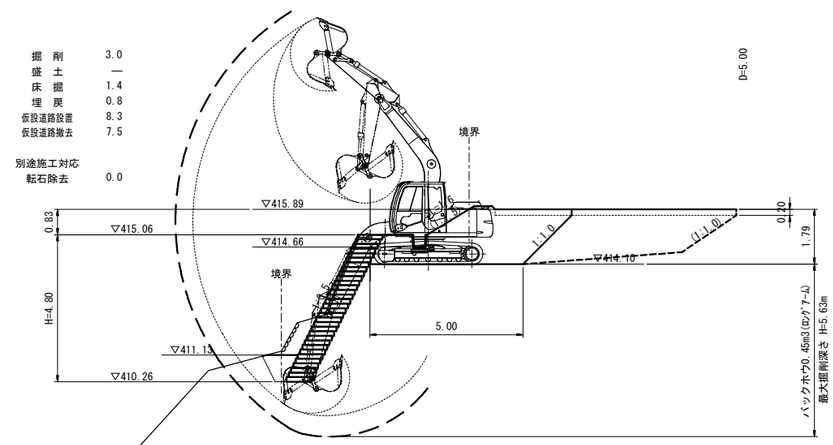
DL=400.00

土のう

NO.0
GH= 415.05
FH=

D=3.00

掘　削	3.0
盛　土	—
床　掘	1.4
埋　戻	0.8
仮設道路設置	8.3
仮設道路撤去	7.5
別途施工対応 転石除去	0.0

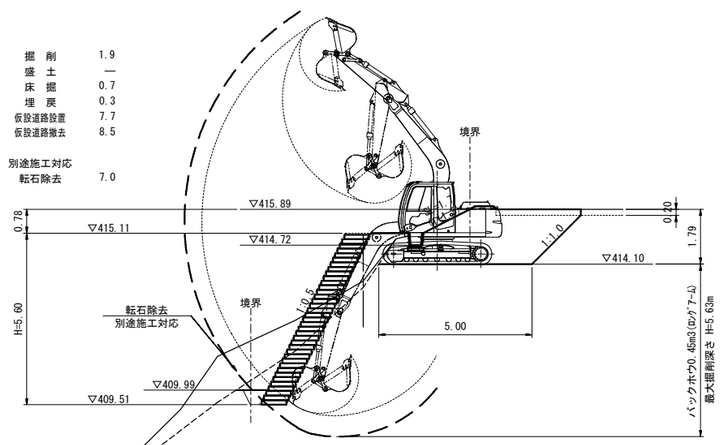


DL=400.00

D=5.00

NO.2
GH= 413.55
FH=

掘　削	1.9
盛　土	—
床　掘	0.7
埋　戻	0.3
仮設道路設置	7.7
仮設道路撤去	8.5
別途施工対応 転石除去	7.0



土のう

DL=400.00

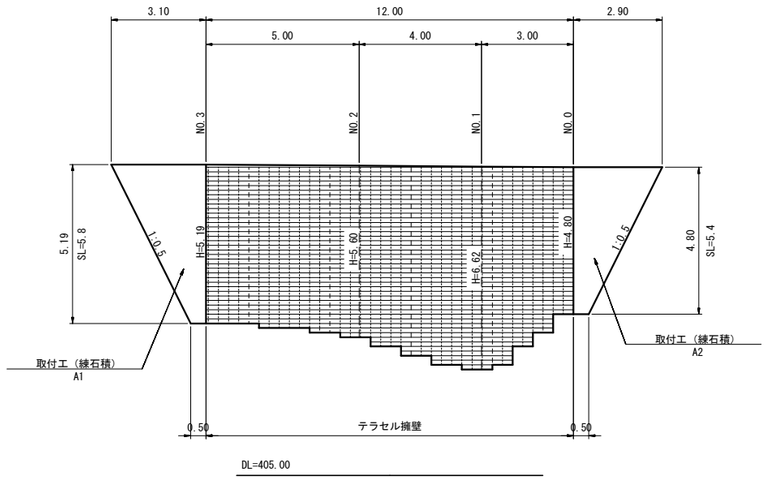
234
33

野井倉　用水路

事業名	令和3年度災害復旧工事		
工事名			
施工年度	令和　年度	施工位置	琴浦町野井倉
図面の名称	横断図		
縮　尺	図示	図面番号	2/4

テラセル擁壁正面図

S=1:100



すりつけ工(練石積)数量

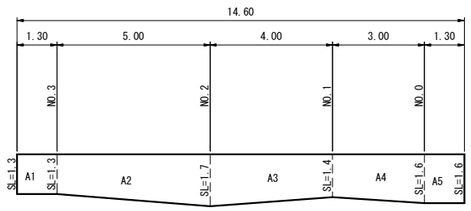
A1＝	5.8×(3.10＋0.50)×1/2	＝	10.4
A2＝	5.4×(2.90＋0.50)×1/2	＝	9.2
合計			19.6 m2

※ 10m2当り石材(現地発生材,材径D400mm内外)数量

N ＝	10m2／((√3×0.4^2×2)/2	＝	72 個
V ＝	72×((π×0.4^3)/6)	＝	2.4 m3

法面整形展開図

S=1:100

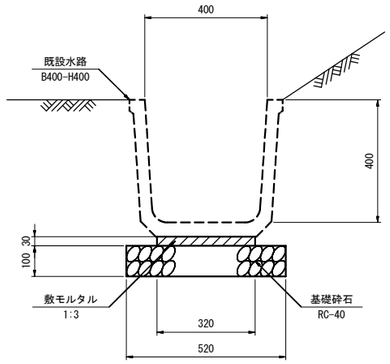


法面整形数量

A1＝	1.3×1.3	＝	7.5
A2＝	(1.3＋1.7)×1/2×5.0	＝	7.5
A3＝	(1.7＋1.4)×1/2×4.0	＝	6.2
A4＝	(1.4＋1.6)×1/2×3.0	＝	4.5
A5＝	1.6×1.3	＝	4.5
合計			18.2 m2

既設水路布設替え

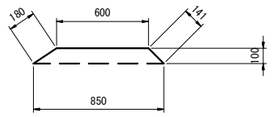
B400-H400　　S=1:10



材　料　表				10m当り
名　称	規格・寸法	算　式	単位	数　量
既 設 水 路	B400-H400-L1000		個	10.0
敷モルタル	1:3	0.320×0.03×10.0	m2	0.096
基 礎 砕 石	RC-40 t=100	0.520×10.0	m2	5.200

畦　畔　復　旧

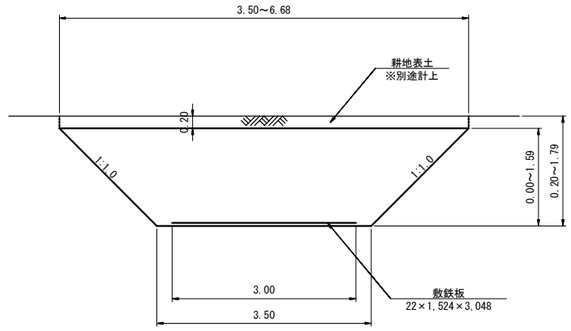
S=1:20



材　料　表				10m当り
名　称	規格・寸法	算　式	単位	数　量
盛　土	人　力	(0.600＋0.850)×1/2×0.10 ×10.0	m3	0.725
法面整形	人　力	(0.180＋0.141)×10.0	m2	3.210

仮設道路設置・撤去（坂路部）

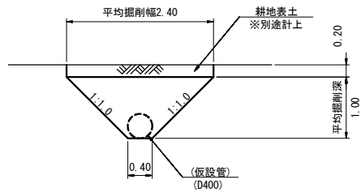
S=1:50



材　料　表				29m当り
名　称	規格・寸法	算　式	単位	数　量
仮設道路設置	掘　削	(6.680＋3.500)×1/2×1.590 ×29.0×1/2	m3	117.3
仮設道路撤去	盛　土	(6.680＋3.500)×1/2×1.590 ×29.0×1/2	m3	117.3

土水路構築・撤去

S=1:50



材　料　表				38m当り
名　称	規格・寸法	算　式	単位	数　量
土水路構築	掘　削	(2.400＋0.400)×1/2×1.000 ×38.0	m3	53.2
土水路撤去	盛　土	(2.400＋0.400)×1/2×1.000 ×38.0	m3	53.2

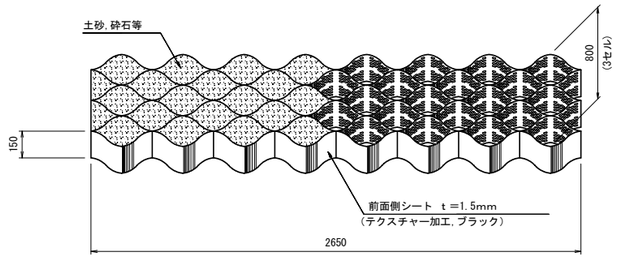
234
33

野井倉　用水路

事 業 名	令和3年度災害復旧工事		
工 事 名			
施工年度	令和　年度	施工位置	琴浦町野井倉
図　面の名称	展開図・構造図		
縮　尺	図示	図面番号	3/4

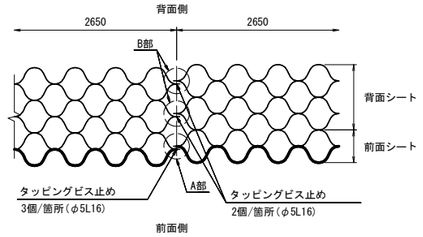
テラセル擁壁詳細図

テラセル形状図

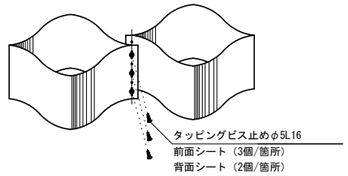


テラセル相互接合部詳細

平　面　図

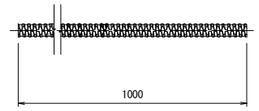


溶着部の目合を重ねてビス止めする。
ビスの留め具として”セルロック”を用いる。



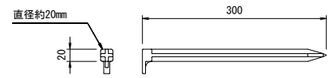
鉄筋D19×L1.0m　S=1:5

2.25kg/m



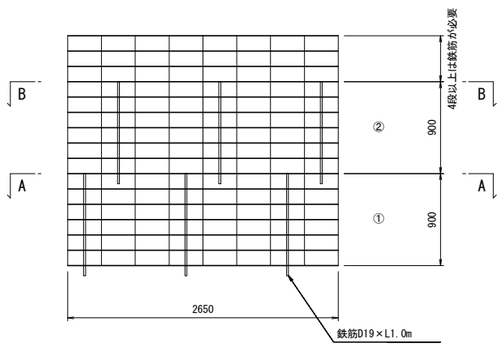
樹脂アンカーピン　S=1:5

材質：ポリプロピレン（再生品）

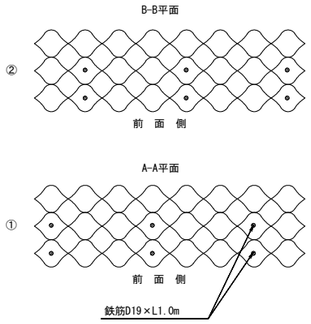


鉄筋打設詳細図　S=1:30

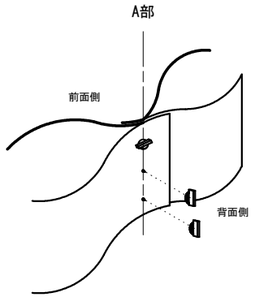
正　面　図



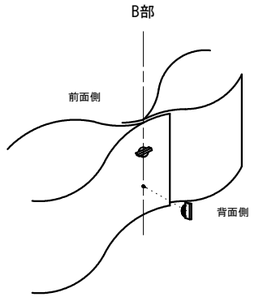
平　面　図



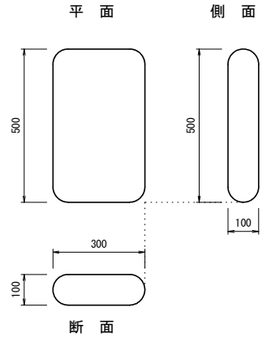
前面シートセルロック取付図



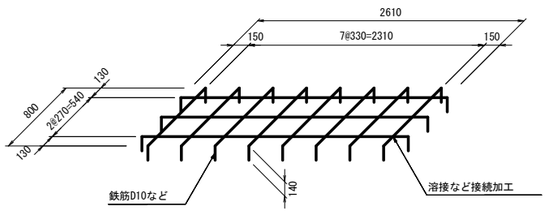
背面シートセルロック取付図



土のう(ジオセルバッグ)仕上がり寸法



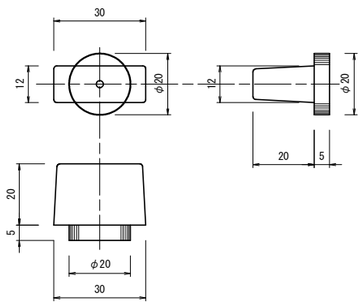
テラセル展開補助枠(参考)　S=1:30



注意）補助枠は、現地にて準備するものとする。

セルロック　S=1:1

材質：高密度ポリエチレン



234
33

野井倉　用水路

事業名	令和3年度災害復旧工事		
工事名			
施工年度	令和　年度	施工位置	琴浦町野井倉
図面の名称	テラセル擁壁詳細図		
縮尺	図示	図面番号	4/4